

## 四国中央市地域公共交通計画(案)のタウンメント結果について

1. 実施期間 令和8年1月5日～令和8年1月26日(22日間)
2. 結 果 意見あり(2名 2件)
3. 周知方法 市公式ホームページ、市公式LINE、広報紙
4. 閲覧場所 観光交通課、各窓口センター(川之江・土居・新宮)、市公式ホームページ
5. ご意見の要旨・市の考え方

※いただいたご意見は、適宜集約・要約しております。

### 寄せられたご意見の要旨と市の考え方

No.	寄せられたご意見の要旨	市の考え方
1	市内を走るバスがお客様の人数に比例していない。大型で狭い道も走り危険だと感じる。小型化するのは可能か？	本市を運行するせとうちバスの運行路線は、川之江駅と七田を結ぶ「川之江駅－七田線」とお隣りの新居浜市と本市を結ぶ「新居浜－川之江線」と2つの路線があり、皆様がお見受けするバスのサイズは、中型(8～9m)サイズです。 ご意見のとおり、四国中央市内を運行しているバスだけを見ると乗客が少ない区間もあり、運行ルートによってはバスのサイズと合わない狭小な箇所もありますが、「新居浜－川之江線」の新居浜市内方面においては一時的に座席数が不足となり立席の状態もあるため、瀬戸内運輸(株)より運営上の観点からバスの小型化は検討していないとの回答をいただいております。

No.	寄せられたご意見の要旨	市の考え方
2	<p>既存のせとうちバスの路線は昭和の時代には利便性があったと思いますが、現状、国道11号経由便(三島港～井地間)の停留所の利便性、必要性は低いと思います。市役所や商業施設、病院の近くを通る路線に変更した方が利便性が上がり市民が使いやすくなると思います。</p> <p>東西の移動や市外のアクセスは現有のJR や高速バスにある程度任せ、その余力で小型バスを用いて市内を循環できればかなり利便性があがると思います。</p> <p>また、県外から公共交通機関を利用して本市に来られた方の移動手段が限られており、伊予三島駅～三島川之江インター高速バス乗り場～川之江駅をつなぐ路線も必要かと思います。</p> <p>例)JR伊予三島駅～三島高校～市役所～ニトリ～タイムホームセンター～三島川之江港線～イオンタウン(三島川之江インター)～HITO 病院～金生公民館～ふれあい交流センター～川之江高校～JR川之江駅</p> <p>また、新宮地区へも現在公共交通機関を利用して移動する手段が無いので、少ない本数でもこれを補填すべきかと思います。</p>	<p>本市を運行する「せとうちバス」運行路線は、川之江駅と七田を結ぶ「川之江駅－七田線」とお隣りの新居浜市と本市を結ぶ「新居浜－川之江線」と2つの路線があります。</p> <p>ご意見のとおり、「新居浜－川之江線」の国道11号経由便(三島港～井地間)は、製紙会社の工業地帯で住宅地もなくこの間の利用者は少ない現状ですが、現在も一定の利用が確認されています。</p> <p>また、この系統は昔と比較すると利用者は減少しておりますが、新居浜市方面を生活拠点とする方々の移動においては、今なお重要な役割を担っているため、バス停の調整におきましても利用状況等を確認しながら慎重に進めていく必要があります。</p> <p>一方、市役所や商業施設、病院等の利用者の目的地となる主要施設が多く立地している上分経由便につきましては、国道11号経由便と比較しても利用者が多いため、計画案の中でも記載しているとおり、幹線機能強化に向けて現状以上の増便を目指していきたいと考えております。</p> <p>次に県外から本市に来られた方の市内での交通手段につきましては、JR を除くとタクシー、もしくは路線バスとなり、新宮地区への移動手段はタクシーのみとなるため、お示しの参考例のような新たな路線や、新宮地区への移動手段を含めて今後の検討課題の一つとして捉えていきたいと考えております。</p> <p>また、本市の横長い地形の東西の移動につきましては、今まで様々な調査や検証を行いましたが、路線バスを本市の公共交通の幹線とし、旧市町境の3エリアとするデマンドタクシーを支線として組合せた交通体系が現時点においては、最も効率的であると考えております。</p> <p>今後につきましては、それらの既存の公共交通が接続する交通結節点の環境整備などの改善に加えて、循環ルートなどの新たな路線導入の可能性について調査、研究を進めていき、市内外を問わず誰もが安心して利用できる利便性、満足度の高い交通ネットワークの構築に向けて努めていきたいと考えております。</p>